

バンダイこどもアンケートレポート Vol.250

「小中学生の勉強に関する意識調査」結果

- TOPIC①: 小中学生の好きな教科・苦手な教科共に総合1位は「算数/数学」!**
 好きな教科 男子TOP3は「算数/数学」、「体育/保健体育」、「理科」、
 女子TOP3は「国語」、「図画工作/美術」、「音楽」と、男女の違いが見える結果に。
- TOPIC②: 2020年から小学校で必修化が始まる「プログラミング」への子どもたちの印象は「面白そう」、「楽しそう」、「将来役に立ちそう」など、ポジティブな意見が上位に!**
 約2割の家庭が、すでに「プログラミング」に関する取り組みを行っていることも判明。
- TOPIC③: 普段の子どもたちの勉強方法1位は「一人で勉強」(40.2%)**
 「タブレット教材」や「インターネット」での勉強を取り入れている家庭も。
- TOPIC④: 先生になってほしい有名人、小中学生の総合1位は「林修」さん!**
 男子の1位にはユーチューバーの「HIKAKIN」さんがランクイン。
 女子は「菅田将暉」さんや「北川景子」さんなどドラマで活躍する俳優・女優を望む傾向。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、「小中学生の勉強」に関する実態を探るため、小学1年生から中学3年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)900人を対象に、「小中学生の勉強に関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表します。

<実査期間2019年2月15日(金)~2月17日(日)>

- TOPIC①: 小中学生の好きな教科・苦手な教科共に総合1位は「算数/数学」!**
 好きな教科 男子TOP3は「算数/数学」、「体育/保健体育」、「理科」、
 女子TOP3は「国語」、「図画工作/美術」、「音楽」と、男女の違いが見える結果に。

【小中学生の好きな教科・苦手な教科】(複数回答、n=900)

| 小中学生総合TOP5 | | | | | |
|------------|---------|-------|-------|-----------|-------|
| 好きな教科 | | | 苦手な教科 | | |
| 1位 | 算数/数学 | 25.1% | 1位 | 算数/数学 | 24.0% |
| 2位 | 体育/保健体育 | 20.1% | 2位 | 国語 | 18.8% |
| 3位 | 図画工作/美術 | 18.1% | 3位 | 体育/保健体育 | 9.9% |
| 4位 | 国語 | 16.9% | 4位 | 社会 | 9.7% |
| 5位 | 音楽 | 14.0% | 5位 | 英語(外国語活動) | 6.1% |
| 他 | 特になし | 20.8% | 他 | 特になし | 32.8% |

※各教科、対象学齢にのみ聴取
 【以下、対象学齢が限定されている教科】
 ・生活→小学2年生以下
 ・社会、理科、総合→小学3年生以上
 ・家庭/技術・家庭、英語(外国語活動)
 →小学5年生以上

| 好きな教科 男女別TOP3 | | | | | |
|---------------|---------|-------|----|---------|-------|
| 男子 | | | 女子 | | |
| 1位 | 算数/数学 | 32.7% | 1位 | 国語 | 22.9% |
| 2位 | 体育/保健体育 | 22.7% | 2位 | 図画工作/美術 | 22.0% |
| 3位 | 理科 | 15.3% | 3位 | 音楽 | 21.8% |

| 苦手な教科 男女別TOP3 | | | | | |
|---------------|---------|-------|----|---------|-------|
| 男子 | | | 女子 | | |
| 1位 | 国語 | 24.2% | 1位 | 算数/数学 | 30.4% |
| 2位 | 算数/数学 | 17.6% | 2位 | 国語 | 13.3% |
| 3位 | 体育/保健体育 | 7.6% | 3位 | 体育/保健体育 | 12.2% |

子どもに好きな教科・苦手な教科を聞いたところ、2016年にバンダイが行った調査に引き続き「算数/数学」が共に1位となりました。それぞれの理由を聞いたところ、“好き”な理由としては「計算が好きだから/得意だから」という声が多く、“苦手”な理由としては「計算が嫌いだから/苦手だから」という声が多く上がりました。計算の好き嫌いが「算数/数学」に対する意識に表れているようです。

また、好きな教科を男女別に見てみると、男子TOP3は「算数/数学」、「体育/保健体育」、「理科」、女子TOP3は「国語」、「図画工作/美術」、「音楽」とそれぞれ異なる教科がランクインしました。男子は理系教科や体育を、女子は文系教科である国語や芸術教科を好んでいることがわかり、男女の違いがみられる結果となりました。

なお、苦手な教科は男女共に「算数/数学」、「国語」、「体育/保健体育」が上位となりました。

TOPIC②: 2020年から小学校で必修化が始まる「プログラミング」への子どもたちの印象は「面白そう」、「楽しそう」、「将来役に立ちそう」など、ポジティブな意見が上位に！
約2割の家庭が、すでに「プログラミング」に関する取り組みを行っていることも判明。

【「プログラミング」の印象について】(複数回答、n=900)

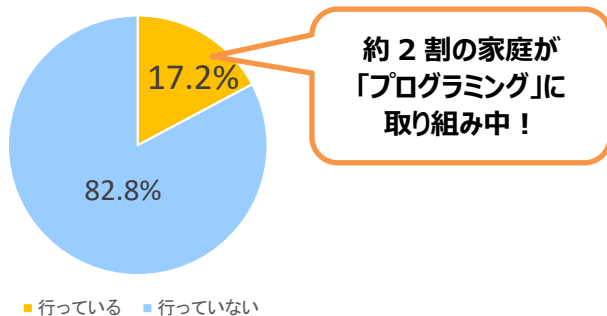
| 総合TOP5 | | | 男子TOP5 | | | 女子TOP5 | | |
|--------|----------|-------|--------|----------|-------|--------|----------|-------|
| 1位 | 面白そう | 23.6% | 1位 | 面白そう | 26.4% | 1位 | 難しそう | 24.7% |
| 2位 | 難しそう | 21.9% | 2位 | 楽しそう | 24.2% | 2位 | よくわからない | 21.3% |
| 3位 | 楽しそう | 20.7% | 3位 | 将来役に立ちそう | 19.3% | 3位 | 面白そう | 20.7% |
| 4位 | よくわからない | 19.1% | 4位 | 難しそう | 19.1% | 4位 | 将来役に立ちそう | 18.0% |
| 5位 | 将来役に立ちそう | 18.7% | 5位 | よくわからない | 16.9% | 5位 | 楽しそう | 17.1% |

2020年から小学校で必修化が始まる「プログラミング」を勉強することについて、どのような印象を持っているかを聞いたところ、「難しそう」や「よくわからない」など、新しい学習内容に対して不安を感じる回答が見受けられる反面、「面白そう」、「楽しそう」、「将来役に立ちそう」などポジティブな意見が上位に入っており、子どもたちが「プログラミング」学習に対して前向きな姿勢であることがうかがえました。

男女別でみてみると、男子は「面白そう」や「楽しそう」といったポジティブな意見がTOP3に入った一方で、女子は「難しそう」や「よくわからない」といったネガティブな意見が1位、2位となり、男女で差が出る結果となりました。男子は好きな教科上位に「算数/数学」や「理科」が上がるなど、理系教科を好意的に捉えている傾向にあることも、「プログラミング」に対しての興味や関心が高く表れている一つの要因かもしれません。

【「プログラミング」に関する取り組みを行っている家庭の割合と取り組んでいる内容】(n=900)

＜「プログラミング」の取り組み状況＞



約2割の家庭が「プログラミング」に取り組んでいます！

| 「プログラミング」に対して取り組んでいる内容TOP5 | | |
|----------------------------|----------------------------------|------|
| 1位 | パソコンやタブレットなどのデバイスを使って遊んだり学習させている | 7.0% |
| 2位 | 親が直接教えている | 3.7% |
| 3位 | 教室に通わせている | 3.2% |
| 4位 | 教材を使って勉強させている | 2.7% |
| 5位 | 教育用の玩具を使って遊ばせている | 2.3% |

また、親に対して「プログラミング」に関する取り組みを行っているかを聞いたところ、まだ必修化されていない現在でも、約2割の家庭が何かしらの取り組みを行っていることがわかりました。

実際に取り組んでいる内容については、1位に「パソコンやタブレットなどのデバイスを使って遊んだり学習させている」がランクイン。他にも、「教材」や「玩具」などを活用して「プログラミング」学習に取り組む家庭も見受けられました。

TOPIC③: 普段の子どもたちの勉強方法1位は「一人で勉強」(40.2%)

「タブレット教材」や「インターネット」での勉強を取り入れている家庭も。

【子どもが普段実践している勉強方法】(複数回答、n=900)

| 勉強方法TOP10 | | |
|-----------|-----------------------------|-------|
| 1位 | 子ども一人で勉強する | 40.2% |
| 2位 | 基本的に子どもだけで勉強するが、必要に応じて親が教える | 39.8% |
| 3位 | 塾に任せている | 23.2% |
| 4位 | 家で親が横について教える | 17.9% |
| 5位 | タブレット教材で勉強する | 12.6% |
| 6位 | インターネットで調べながら勉強する | 9.3% |
| 7位 | 友達と勉強する | 6.9% |
| 8位 | 兄弟姉妹で勉強する | 6.0% |
| 9位 | 動画サイトやDVDなどの映像を見ながら勉強する | 2.8% |
| 10位 | オンライン講座で勉強する | 2.6% |

親に子どもの普段の勉強方法について聞いたところ、最も多い方法は「一人で勉強」(40.2%)であることがわかりました。また、4割近くが「必要に応じて親が教える」(39.8%)と回答しており、多くの親が子どもの勉強に関わっている様子も見られました。

一方で、5位に「タブレット教材で勉強する」(12.6%)、6位には「インターネットで調べながら勉強する」(9.3%)がランクインするなど、デジタルデバイスを活用して勉強に取り組む子どもがいることも判明。近年の勉強方法の幅が広がっていることがわかる結果となりました。

TOPIC④: 先生になってほしい有名人、小中学生の総合1位は「林修」さん！

男子の1位にはユーチューバーの「HIKAKIN」さんがランクイン。

女子は「菅田将暉」さんや「北川景子」さんなどドラマで活躍する俳優・女優を望む傾向。

【先生になってほしい有名人(タレント、キャラクターを含む)TOP5】(自由回答、n=900)

※2019年、2016年共に同条件下での調査を実施。

| 2019年 総合TOP5 | | | 2016年 総合TOP5 | | |
|--------------|---------|-----|--------------|---------------|-----|
| 1位 | 林修 | 56人 | 1位 | 林修 | 35人 |
| 2位 | HIKAKIN | 50人 | 2位 | ドラえもん | 27人 |
| 3位 | 菅田将暉 | 20人 | 3位 | 櫻井翔 | 26人 |
| 4位 | ドラえもん | 18人 | 4位 | 松岡修造 | 14人 |
| 5位 | 櫻井翔 | 17人 | 5位 | 嵐(グループでランクイン) | 12人 |

先生になって欲しい有名人(タレント、キャラクター含む)を聞いたところ、テレビでも活躍中の塾講師「林修」さんが2016年に行った調査に引き続き、総合1位を獲得。2位には子どもたちに圧倒的人気を誇るユーチューバーの「HIKAKIN」さん、3位にはドラマで教師役として注目を浴びた「菅田将暉」さんが、初めてのTOP3入りを果たしました。

また、4位となった国民的人気キャラクター「ドラえもん」、5位となったアイドルグループ「嵐」のメンバーである「櫻井翔」さんは、2016年に引き続きTOP5入りを果たし、先生になってほしい有名人として根強い人気があることがわかりました。

【先生になってほしい有名人(タレント、キャラクターを含む)男女別 TOP5】(自由回答、n=900)

| 男子TOP5 | | | 女子TOP5 | | |
|--------|---------|-----|--------|---------|-----|
| 1位 | HIKAKIN | 38人 | 1位 | 林修 | 19人 |
| 2位 | 林修 | 37人 | 2位 | 菅田将暉 | 15人 |
| 3位 | ドラえもん | 14人 | 3位 | 櫻井翔 | 14人 |
| 4位 | みやぞん | 9人 | 4位 | HIKAKIN | 12人 |
| 5位 | 出川哲郎 | 8人 | 5位 | 北川景子 | 7人 |
| | | | | 明石家さんま | |

男女別の結果を見てみると、男子人気の1位には「HIKAKIN」さんがランクイン。「林修」さんを抑えて初の1位に輝きました。また、男子は「みやぞん」さんや「出川哲郎」さんなど、バラエティ番組で活躍する芸能人が多くあげられる一方で、女子は「菅田将暉」さんや「北川景子」さんなど、テレビドラマで活躍する俳優・女優がTOP5に入りました。好きな教科や、「プログラミング」に対する印象に加え、先生になってほしい有名人についても男女間での違いが見える結果となりました。

【バンダイからのコメント】

2016年の「勉強」に関する意識調査実施から3年ぶりの実施となりました。現在注目されている「プログラミング」の他にも、2020年より小学校5・6年生で教科化される「英語」についての印象^{※1}を聞いたところ、「将来役に立ちそう」という声が多く上がりました。また、約2割の家庭がお子さまを「英語教室に通わせている」と回答^{※2}しており、親子共に英語学習の大切さを感じていることがうかがえる結果となりました。「英語」への印象についても、男女で違いがみられ、女子では「将来役に立ちそう」という回答が最も多かったのに対し、男子は「難しそう(難しい)」といった回答が最も多く、女子の方が「英語」学習をより好意的に捉えていることがわかりました。

「プログラミング」や「英語」など勉強科目が増えている今日ですが、子どもたちには、いろいろな科目を通じて、好きなことや得意なことを見つけてほしいと願っています。

※1: 後述5頁参考③参照 ※2: 後述5頁参考④参照

■調査概要

【調査目的】 「親子のコミュニケーション」に関する実態を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 小学1年～中学生3年生の子どもを持つ親(25歳～59歳)

※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】 2019年2月15日(金)～2月17日(日)

【サンプル数】 900人

【構成】

| | 小学1年生 | 小学2年生 | 小学3年生 | 小学4年生 | 小学5年生 | 小学6年生 | 中学1年生 | 中学2年生 | 中学3年生 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 男子 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 |
| 女子 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 | 50人 |

参考①:2019年度「小中学生の好きな教科・苦手な教科」

| 2019年 小学生総合TOP5 | | | | | 2019年 中学生総合TOP5 | | | | | | |
|-----------------|---------|-------|-------|---------|-----------------|----|-----------|-------|----|-----------|-------|
| 好きな教科 | | | 苦手な教科 | | 好きな教科 | | | 苦手な教科 | | | |
| 1位 | 算数/数学 | 27.0% | 1位 | 算数/数学 | 22.5% | 1位 | 算数/数学 | 21.3% | 1位 | 算数/数学 | 27.0% |
| 2位 | 図画工作/美術 | 22.5% | 2位 | 国語 | 18.8% | 2位 | 社会 | 19.3% | 2位 | 国語 | 18.7% |
| 3位 | 体育/保健体育 | 21.8% | 3位 | 体育/保健体育 | 9.8% | 3位 | 英語(外国語活動) | 17.3% | 3位 | 社会 | 16.0% |
| 4位 | 国語 | 19.0% | 4位 | 社会 | 6.5% | 4位 | 体育/保健体育 | 16.7% | 4位 | 英語(外国語活動) | 14.3% |
| 5位 | 音楽 | 16.2% | 5位 | 図画工作/美術 | 5.5% | 5位 | 理科 | 13.7% | 5位 | 理科 | 10.7% |
| 他 | 特にない | 20.2% | 他 | 特にない | 38.0% | 他 | 特にない | 22.0% | 他 | 特にない | 22.3% |

参考②:2016年度「小中学生の好きな教科・苦手な教科」

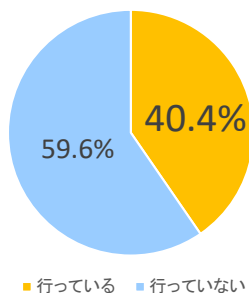
| 2016年 小中学生総合TOP5 | | | | | 2016年 中学生総合TOP5 | | | | | | |
|------------------|---------|-------|-------|-----------|-----------------|----|-----------|-------|----|-----------|-------|
| 好きな教科 | | | 苦手な教科 | | 好きな教科 | | | 苦手な教科 | | | |
| 1位 | 算数/数学 | 28.9% | 1位 | 算数/数学 | 24.8% | 1位 | 算数/数学 | 25.3% | 1位 | 算数/数学 | 27.0% |
| 2位 | 図画工作/美術 | 22.1% | 2位 | 国語 | 22.2% | 2位 | 社会 | 18.7% | 2位 | 国語 | 19.7% |
| 3位 | 体育/保健体育 | 20.2% | 3位 | 体育/保健体育 | 11.0% | 3位 | 理科 | 15.0% | 3位 | 英語(外国語活動) | 15.7% |
| 4位 | 音楽 | 19.8% | 4位 | 社会 | 9.3% | 4位 | 英語(外国語活動) | 13.7% | 4位 | 社会 | 15.3% |
| 5位 | 国語 | 18.3% | 5位 | 英語(外国語活動) | 6.4% | 5位 | 体育/保健体育 | 12.7% | 5位 | 体育/保健体育 | 10.3% |
| 他 | 特にない | 19.0% | 他 | 特にない | 31.4% | 他 | 国語 | 25.3% | 他 | 特にない | 25.0% |
| 他 | 特にない | 15.8% | 他 | 特にない | 34.7% | 他 | 特にない | 25.3% | 他 | 特にない | 25.0% |

参考③:「英語」の印象について

| 総合TOP5 | | | 男子TOP5 | | 女子TOP5 | | | |
|--------|---------------|-------|--------|---------------|--------|----|---------------|-------|
| 1位 | 将来役に立ちそう | 26.8% | 1位 | 難しそう(難しい) | 24.7% | 1位 | 将来役に立ちそう | 29.3% |
| 2位 | 頑張りたい(頑張っている) | 23.4% | 2位 | 将来役に立ちそう | 24.2% | 2位 | 頑張りたい(頑張っている) | 25.6% |
| 3位 | 難しそう(難しい) | 22.3% | 3位 | 頑張りたい(頑張っている) | 21.3% | 3位 | 楽しそう(楽しい) | 23.3% |
| 4位 | 楽しそう(楽しい) | 20.3% | 4位 | 楽しそう(楽しい) | 17.3% | 4位 | 難しそう(難しい) | 20.0% |
| 5位 | 面白そう(面白い) | 16.9% | 5位 | 面白そう(面白い) | 15.6% | 5位 | 面白そう(面白い) | 18.2% |

参考④:「英語」に関する取り組みを行っている家庭の割合、取り組んでいる内容

＜「英語」の取り組み状況＞



| 「英語」に対して 取り組んでいる内容TOP5 | | |
|---------------------------|--|-------|
| 1位 | 教室に通わせている | 20.3% |
| 2位 | 教材を使って勉強させている | 9.3% |
| 3位 | パソコンやタブレットなどの デバイスを使って遊んだり 学習させている | 7.7% |
| 4位 | 親が直接教えている | 7.0% |
| 5位 | 教育用の玩具を使って 遊ばせている | 3.0% |

**次回 バンダイこどもアンケート
5月中旬「おこづかいに関する意識調査」配信予定**